

診察室で 考えて いること(仮)



私の言葉ではないから、括弧書きにしておく。「悲観的に準備して、楽観的に対処する」。この考え方は、最前線では役に立つ。もしも全くアイデアが浮かばなくて進退窮まったら、こうすると最終ラインだけはきちんと決めておく。それより後ろを心配するには及ばない。

そうすると現場で思いつくのは、それ以上のプランでしかないから、楽しくて仕方ない。最終ラインがあるから、安心して前に進むことができるわけだ。最善だと思うものしか準備しないことよりは健康的で、イライラしなくて済むような気がする(ともに理事)

その7 覚悟

気になるあのこと よ 読んで とことん書きます

その7

献立の組み立て方、ここだけの話

文：みやけ

料理を作ってるみなさん、献立を考えるのって大変ですよ。私も毎日調理部の利用者さんと一緒に悩みながら作ってます。私たちがどのように経済的かつバラエティ豊かな献立を組んでいるかを教えます。

①旬のものを使う



季節感を味わってもらおうと、食材は旬のものを買うようにしています。旬の食材は、実は割安だったりするんです。

②主菜をバランスよく



お肉、魚、麺類の日をバランスよく決め、それに合った副菜を考えています。リクエストを受け付けることも。家庭用ガスコンロを有効に使うため、その日の調理法も考慮に入れています。

③情報は足で稼ごう



調理部利用者さんも、私も時間を見つけてはスーパーや地元の店を見て回ってます。値段や旬のものがわかりますよ。

各事業報告～11月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行2名、継続B23名
- ◆グループホームよろこび 契約/15名(定員23名) 体験/1名
- ◆法人会員 正会員20名、賛助会員 団体2 個人64名
- ◆寄付物品 食材(お菓子～)、着物生地、牛乳パック ほか



(株)コカ・コーラボトリング倶知安営業所さまより、倶知安町社会福祉協議会を通して今年もワークショップようていに清涼飲料水の寄付をいただきました。すぐ利用者がお礼のはがきを出しましたが改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

編集後記

先月休みをとって福島県へ行ってきました。街が復興に向かっている中、いまだに津波の痕跡がある建物がいくつもありました。あれからもう4年、でもまだ4年。(かわさき)

次回は…1月21日[水]の予定です
みなさまよいお年を!

通信 ともに

第19号



2014年12月17日発行

発行者/NPO法人ともに
住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
(ワークショップようてい内)
でんわ/FAX (0136) 23-2872
Eメール npotomoni@coda.ocn.ne.jp
公式ホームページ http://npotomoni.web.fc2.com
公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚



(12月13日、点灯初日に撮影)

ニセ川駅のイルミネーション

しょうおukai

松翁会さまの助成金贈呈式～融雪工事も完成！大活躍中！



左から箱崎さま、理事長、長岡理事

前月号で紹介した松翁会さまの融雪地下水工事助成金の贈呈式が、12月4日法人事務所で行われました。倶知安町社会福祉協議会事務局 阿部優子さまも出席された中、東京の本部よりはるばる来ていただいた専務理事の箱崎一彦さまより目録が贈呈されました。工事は11月に完成し、電動ポンプで汲み上げられた地下水が融雪槽の雪をぐんぐん融かしていく様子を箱崎様にもご覧いただくことができました。ありがとうございました。

ジョンソン・エンド・ジョンソンさまより、自家発電機導入に寄付が決定！



ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会さまより「わっくわく」事業での非常災害用自家発電機導入活動に30万円のご寄付をいただけることになりました。災害時の障がい者避難所としての機能も兼ね備えた建物にしたいとの計画を評価していただき大変嬉しいです。ありがとうございました。

←購入予定のHONDA EM45is (写真はEM55is)

わっくわく事業
ともに創る地域の和

現場監督さんにインタビュー

新築工事の現場監督をされている、池端住宅建設(株)取締役工事部部長の川岸康弘さんにうかがいました。

★現在の工事の状況は？

：おかげさまで計画通りに進んでいます。

★雪の中の工事、気をつけていることは？

：足場が滑らないよう毎日除雪をしています。また外部のタイルを貼るために凍らないよう温めたり囲いをしています。

★建物に気を使っていることは？

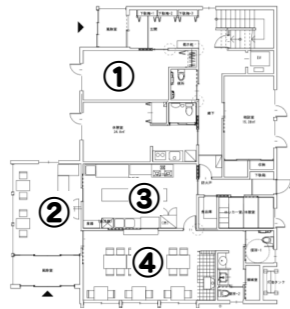
：一般住宅工事をする事が多いのですが、福祉施設の建設は特に利用される方の使いやすさを考えてつくっています。

★最後にこの工事に対する思いをどうぞ

：みなさんのおかげで、順調に工事を進めることができうれしく思っています。今現在の倶知安の雪の多さに大変驚いていますが、雪に負けず、作業員一丸となって竣工にむけて頑張っていこうと思います。これからもよろしく願いいたします。

1階の写真です。

年が明けてからは内装工事も本格的になります。



現在の内部
(12月9日撮影)



① 就労移行支援訓練室



② 喫茶



③ 厨房



④ 食堂

講演会・研修会活動

仕事のWRAP※1講座 全5回終了

11月から12月にかけて当法人が主催し、倶知安厚生病院でおこなわれたこの講座に12名の方の申し込みがありました。

ワークショップようていの利用者も3名参加したので、一人の方に感想を書いてもらいました。

講師の方々のおかげで緊張することなく自分の意見を話すことができ、とても楽しく交流できました。講座の内容も自分の感情や環境を改めて見直すことになり、今後の生活に生かせそうです。ありがとうございました。



障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

北海道カフェに「さやあかね」を提供！

→豚汁売りの場のチラシ
↓
手工芸品売りの場



札幌の就労支援事業所、PCNETさんが受託した道の事業「障がい者就労カフェ（北海道カフェ）」が11月8日～12月5日まで道庁前中庭で行われ、その豚汁に当事業所のじゃがいも（さやあかね）が使われました。道新でも報道されましたが、売れ行き好調でさやあかねの追加注文をたくさん承りました。また12月3日～5日道庁1階ロビーで行われた授産品フェアでも製造部の手工芸品を販売して頂き、予想以上の売り上げがありました。実現しませんでした、販売の実習を受け入れてくださるとのお話もあり、利用者のやる気が起きるきっかけとなりました。ありがとうございました。

これからもこうしたつながりを大事にし、利用者にはいい機会が与えられるよう日々アンテナを張っていないと、と思った次第であります。
(ながおか)

農福連携シンポジウムに参加して



11月28日札幌市で開かれた、道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課主催の「農福連携シンポジウム」に行ってきました。

農業と福祉の連携をテーマにしたシンポジウムでは、①作業を細分化してできるだけ通年通して同じ作業をすること、②農産物の加工を積極的に行っていること、この2つが共通点であると感じました。

課題としては農産物や加工品の販売ルートの確立がありました。これは地道な開拓が必要であると思っています。

福祉を見つめるとともに、再度採算を考えていかなければいけないと思いました。(みやざき)

グループホーム

「やさしい精神保健講座」を受講して



毎年、後志地域精神保健協会が地域住民向けに主催する「やさしい精神保健講座」が今年は倶知安町で開催されました。当法人も職員研修に位置づけ毎年参加していますが、どのようなことを学んだか、受講したグループホーム職員2人に聞きました。

講義の内容で特に、病気からくる「生活のしづらさ」の説明はわかりやすかったです。また実習先の林病院デイケアでは、利用者の方々が自分ができることを率先して行なっている姿が印象的でした。「さりげなく優しい」ところも、ともにの利用者の方々と共通していました。(みた)

現役の医師やワーカーさんの講義はわかりやすく、施設体験実習では倶知安厚生病院デイケアで貴重な経験をさせていただきました。講義のなかでピアサポーターさんの体験発表があり、自らの体験を生き活きと語っていたことが印象的です。(おだ)